#### 自分らしさへの自信

文部科学省初等中等教育局 教育課程課教科調査官

田村 学 氏

強さをもつ日本人女性の美しさを見 た人も多いのではないだろうか。 このなでしこジャパンの快挙は、 三月十一日に発生した東日本大震災 によって落胆していた多くの日本国 民を元気づけ、日本中に笑顔と前向 きな姿勢を取り戻した。試合前、選 きたちは、被災地の様子などをまと めた映像を見て試合に臨んだという。



教育随想

なでしこジャパンの活躍に日本中なでしこジャパンの活躍に日本中家ドイツチームを撃破し、最強と言われたアメリカチームに対しても粘り強く戦い続け、劇的なPK戦で勝り強く戦い続け、劇的なPK戦で勝ち取った。幾度となくリードされる試合展開に、応援をしていたされる試合展開に、応援をしていたがた。それでもなでしこたちは、しけた。それでもなでしこたちは、しけた。それでもなでしこたちは、しけた。それでもなでしこたちは、しけた。それでもなでしこたちは、したかにたくましく戦い続けた。それでもなでしこたちは、したが、何度となくあきらか。

日子日子への思いでもあった。 ところで、なでしこを指揮している の中で、選手一人一人に対して「自 の中で、選手一人一人に対して「自 の中で、選手の上ではしい」と

一方、他者承認によって生まれる型の学習活動によって形成される。といべて安定的で、確かなものであと比べて安定的で、確かなものであと出ての学活動によって形成される自信は、他者の承認から生まれる自信は、他者の承認から生まれる自

(たむらまなぶ

自信は、達成型や競争型の学習活動

によって形成される。 子供も含めた私たちが、思慮深く、 他者を大切にし、仲間と関わりなが ら、自分自身のよさを実感し、自分 ら、自分自身のよさを実感し、自分 ら、自分自身のよさを発揮し 活動を展開したい。そのことこそが、 目標に向けて、自分らしさを発揮し ながらチャレンジできる、なでしこ たちのような人材を育てていくこと たちのような人材を育てている。



平成24年1月1日

1月号

発行・編集 岡崎市教育委員会

#### 今月の紙面

教育随想	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	••• 1
文部科学省初等		
教育課程課 考		_
	田村	学氏
この人に聞く	•••••	2
「全国ホタル研究	究会」顧問	月
	古田	忠久氏
羅針盤		2
理科指導員	山本	則夫
ふれあい	• • • • • • • • • •	··· 3
河合中	伴	巨裕
特 集	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	4
特色のある部沿	5動	
~伝統や地域性	生を反映し	して~
お知らせ	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	··· [6]
フォト・ヒス	トリー	8
青木川河川美仁	<b></b> 化活動	
この本を		8





## THE PROPERTY OF THE PROPERTY O

## ホタルの光に魅せられて

**古田 忠久 氏** 「全国ホタル研究会」顧問

ても大型のものが多くて、とっても元

| 岡崎のゲンジボタルは、全国的に見

動に精力的に取り組まれている。

東に幸せそうな笑顔で、ホタルの保護活め虫を飼育するなど、ホタルの保護活力とを語られる古田さん。「生田ホタニとを語られる古田さん。「生田ホタニとを語られる古田さん。「生田ホタ

古田さんがこの活動を始めたのは、古田さんがこの活動を始められた人でと願って保護活動を始められた人でと願って保護活動を始められた人でと願って保護活動を始められた人でと願って保護活動を始められた人でと願って保護活動を始められた人でと願って保護活動を始められた人でと願って保護活動を始められた人でと願って保護活動を始められた人でという。

くようになりましたね。」
に心遣いをもって接すること。この考の考えを捨て、目の前のホタルに素直の方に変わってから、飼育もうまくいにがして飼育に手を抜いてしまう。そ

忘れない。 除去したりするなど、細かい気配りをたり、幼虫が食べた後の貝殻をすぐにに、産卵で使用する水ごけを水洗いしに、産卵で使用する水ごけを水洗いし

「人でもホタルでも、相手の立場になって考えることが大切ですね。飼育者って考えることが大切ですね。」ることを忘れないでほしいですね。」河合中学校のホタルに接するのではない、古田さんが改良を重ねた飼育決置は、古田さんが改良を重ねた飼育決にないある。

類を見ないものでしたよ。」のために石灰岩を入れるとよいことがつために石灰岩を入れるとよいことがした結果、水槽内を弱アルカリ性に保は難しいことです。いろいろ試行錯誤は難しいことです。いろいろ試行錯誤

のゲンジボタルの生息数も、かなり増長年の研究や飼育によって、岡崎

ないと言う。り巻く環境が改善されているとは言ええてきたそうだ。しかし、ホタルを取

「毎年、産卵場所が二キロメートルほ「毎年、産卵場所が二キロメートルほのですよ。ホタンが育つ環境を早く作りたいですが、自然界の力でホたね。飼育に頼らず、自然界の力でホたね。飼育に頼らず、自然界の力では観賞

したかが本当の環境教育だと思いまい学校などに足を運び、子供たちとと小学校などに足を運び、子供たちとといら過行活動に取り組んでいる。「生物がどれだけ成長したかが重要で「生物がどれだけ成長したかが重要で「生物がどれだけ成長したかが重要ではなく、飼育や観察という過程を通じ、子供たちとといきがあります。

感じた。 たちの成長を願う古田さんの温かさを ホタルを思う気持ち以上に、子供 さを直に感じてほしいですね。」



4 住 所 岡崎市岡町 生年月日 昭和九年八月十五日 大年 名 ふるた ただひさ



# 実感を伴った理解」へ

業でのことである。 課題を提示した。五年生の理科の授 時間は変わるだろうか』という学習 時間は変わるだろうか』という学習 は復の

す。先生たちには、そういった機会を

子供たちには、命の大切さとすばらし多く子供たちに与えてほしいですね。

子供たちの予想は「重いものは速く振れる」「重さを変えても変わらない」の三つに分かれた。A先生は、ふりの三つに分かれた。A先生は、ふりの三つに分かれた。A先生はでいった。A先生の意図的な指名により、話し合いは活性化され、思考は次第に深まりを見せた。

ちの自然や身の回りの事象に対する固がある。予想においては、子供た思考を深める段階の一つに予想の場理科の授業において、子供たちの



## 私たちの宝もの

### 河合中 伴

くなっちゃって大変なんだ。」 「先生、うちの向かいの山の木が無 第二東名高速道路の建設で、

いでいた。 気持ちを収める言葉を見つけられな かない様子であった。私は、 A子は、高速道路の建設に納得がい が、次第に増えていくことを感じた。 消えていくことを寂しく感じる生徒 A子ばかりではない。学区から緑が た現状を、A子は私に強く伝えた。 らの見慣れた景色が変わってしまっ ・ A 子の

だった。学校の裏山でクリ・コナラ のだが、その中心となったのがA子 校の生徒会は自分たちで樹木を育て 育て、二年後に苗木を高速道路のの など十種類の種子を採取し、 (グリーンプラス) 計画」を提案した !林しようと「緑を守ろう!GP 八月に生徒市議会が開かれた。 全校で

> 計画の実現にこぎつけた。 いにも市や企業の支援をいただき、 面に植樹するというのである。

との共生を目指した道路建設につい と考えたからだ。A子は、 間でA子なりに答えを見出している にA子を指名した。開発と保全との を占めた。私はこの場面で、意図的 境は大丈夫だと主張する意見が多く るホタルを保護している」など、環 ろ過する人工池を作り、 生徒たちから多くの意見が出された。 通の利便性」と「環境への配慮」が めてA子は気付いた。見学後は、「交 を行った。環境に配慮する企業の 組んだ。まず、建設現場での見学会 考えた。そこで、『地域開発と環境保 きた。このことを授業に生かそうと 生徒の意識がふる里の環境に向いて に大丈夫なのか」と投げかけると、 元の終末で、「河合学区の環境は本当 て、生徒たちは思いを巡らした。単 話し合いの中心となった。自然環境 方々に、苦労や努力があることに初 全~河合の里を守れ!~』の単元を - 地域性苗木の植栽や天然記念物であ 「伐採林や削った土砂を再利用し、次 「工事現場に生かしている」「泥水を A子の思いが他に広がり、 男川へ流す

分たちが住んでいる地域の自然環境 大丈夫だと信じています。でも、 「環境調査をしっかりしてあるから

間であった。 と述べた。A子の成長を垣間見た瞬 は変えないようにしてほしいです。」

ら覚えていた。 ることの喜びと感動、そして誇りす 熱い思いが通じ、プランが実行でき をA子に問うた。市や企業の方々に 授業の最後に、学区に対する思い

う気持ちで満ちあふれていた。 ちにお礼が言いたいです。」 「GP計画を実現させてくれた人た 「河合の自然は、私たちの宝です。」 授業でのA子の発言は、学区を思

手の一人となるべく、A子の提案し のだ。A子は今後も河合で育ち、 活していく。持続可能な社会の担い た夢は大きく膨らんでいる。 A子は、自分で納得の答えを得た 生.



は実体験に乏しい子供たちにとって 素朴な思いを大切にしたい。そこで B男のような経験に基づいた意見は

の大半がB男の意見に同調した。 貴重であり、説得力がある。クラス

ジが定量的な実験を通して変わって 要領のキーワードである。それは、 いく瞬間を見逃すまいと必死である。 先生。B男のふりこに対するイメー り添い、つぶやきを拾おうとするA 結果は変わらない。 B男のそばに寄 首をかしげながら納得のいかない表 情のB男。何度も実験を繰り返すが、 して、一往復の時間は変わらない。 に変えて実験開始。B男の予想に反 おもりをプラスチック球から鉄球 『実感を伴った理解』は新学習指導

を通して得られる理解、「実際の自然 り返すB男に最後まで寄り添った。 想を信じ、納得のいくまで実験を繰 との方が多い。A先生は、自分の予 業のなかでは導くことができないこ 解のことである。しかし、『実感を伴っ や生活との関係への認識」を含む理 てはいけない。むしろ、一時間の授 た理解』に対する答えを性急に求め 具体的な体験」「主体的な問題解決」 放課後、「ブランコで確かめてみ

は、もうすぐそこまで来ている。

ざす B 男。 るよ」と、

彼の「実感を伴った理解 弟といっしょに公園をめ



▲オーケストラ部(竜南中) 平成 15 年創立

上披露する大切な役割を果たしている。

岡崎市では、子供たちの健やかな成長を願活動の中には、学校の伝統や地域性を反映した特色が多く存在する。その独自の取組は、多方面から注目され、高い評価を受けている。弓道部(額田中)は、創部から三十八年の弓道部(額田中)は、創部から三十八年のの流を受け継ぎ、弓道を通しての精神修養に伝統を受け継ぎ、弓道を通しての精神修養に開放されており、地域ぐるみで弓道の練に開放されており、地域ぐるみで弓道の練に開放されており、地域ぐるみで弓道の練に開放されており、地域ぐるみで弓道の練でが熱心に行われている。

魅了している。 がある。弦楽器を含めた演奏は、毎回観客を オーケストラ部(城北中、福岡中、 能祭での発表を通して、 統を受け継いでいる。 和楽器演奏の練習に日々励み、 の普及、選手強化を願って創立された。 で行われた「わかしゃち国体」に向け、 である。この二つの部は、平成六年に愛知県 アーチェリー部 音楽活動も多彩である。市内には、三つの (矢作北小) は、中学ではたいへん珍しい部活動 は、地域の指導者を招いて、 和太鼓部(大樹寺小)、 (東海中)、 学校行事や市の伝統芸 古典芸能音楽を地域 日本古来の伝 カヌー部 竜南中)

▲自然科学部(河合中) 昭和22年創立

昭和41年から現在まで44年間、地域ぐるみでゲンジボタル養殖・保護・育成活動や河川美化活動を行う。ホタル養殖の開始は、今月号の「この人に聞く」で取り上げられている古田氏が尽力された。平成20年度 全国野生生物保護実績発表大会 日本鳥類保護連盟奨励賞受賞

#### ▲蛍飼育部(美合小) 昭和52年創立

ゲンジボタル (生田ホタル) の保護活動を行う。地域を流れる 山綱川の美化活動を全校児童や学区民、生田ホタル保存会のメ ンバーとともに行っている。

平成22、23年度 愛知県野生生物保護実績発表大会 愛知県 教育委員会賞受賞

# に関する。

#### 鍛えた一般を競う



▲弓道部(額田中) 昭和48年創立 学校に地域講師を招いて専門的な指導を受ける。 全日本少年武道 (弓道) 練成大会で平成12・15・19年度 男子優秀賞 (1位)、平成17年度 女子優秀賞 (1位)

#### アーチェリー部(東海中) 平成3年創立

平成6年に岡崎市で行われる国体競技に地元から選手を 出すことをめざし、競技の普及、底辺拡大を目的に中学 にも部を創立。

平成23年度 全日本小学生中学生アーチェリー選手権大 会 男子優勝・準優勝、女子準優勝

〈創立時の指導者の声〉 若年層普及のため、 中学生を指導しました。ゼロからの指導です ので、3年で育てるのは難しいと思っていま したが、予想以上にみんな成長しました。教 え子が高校でわかしゃち国体に出場し入賞し ました。出場はできると思っていましたが、 まさか入賞できるとは思っておらず、大変喜 んだ覚えがあります。 (現 秦梨小 教員)



▲カヌー部 (新香山中) 平成4年創立 練習場は、学区内にある岡崎市カヌー場(巴川) 本年度は女子カヤック(パドルで左右を漕ぐ)の全ての競技で全 国優勝、男子も3種目で2位になる。国体の愛知県代表選手も 輩出。

岡崎市で唯一の弓道部、額田地域で38年 〈指導者の声〉 の伝統がある部です。弓道を通して、生徒に、努力の大切 さ、仲間と切磋琢磨することのすばらしさを実感させてや (額田中 弓道部顧問) りたいと思います。



世界大会を経験し て、練習に対する姿 勢が、今までとは変 わってきたと自分で 思います。世界で通 用する戦いができる ように、今まで以上 に一射一射を大切に していきたいです。 (東海中3年

女子生徒)

▲2011年世界ユース選手権大会(ポーランド)に出場

#### 伝統の心を受け継ぐ



▲和太鼓部 (大樹寺小) 平成10年創立 入学式、運動会等の学校行事や伝統芸能祭で演奏。

平成14年度 第30回岡崎教育文化賞受賞

平成18年度 第5回東京国際和太鼓コンテスト 審査員特別賞受賞



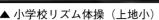
▲雅楽部(矢作北小) 平成3年創立

地域で古くから活動している長瀬楽人会の指導を受け、毎年、 演奏会を多数行う。平成19年3月には東儀秀樹氏とのジョイ ントコンサートを行う。

平成13年度 第32回博報賞「伝統文化教育部門」 文部科学大臣奨励賞受賞

ファミリーフェスタでは、「越天楽」「胡飲酒破」「合歡塩」の3曲を演奏することになりました。本番では、3曲と も全員がしっかりと演奏することができ、多くの方から曲の速さやリズムがとてもよかったとほめていただくこと ができました。雅楽のよさをわかってもらえてうれしかったです。 (矢作北小 6年女子児童)





## 教育最新情報

▼おかざきの心の歌『夢おど る』のダンス「岡崎の舞」、 「リズム体操」完成

体操」を完成させた。 ダンス「岡崎の舞」、「リズム 中心となり、隊形移動のある 作された。現職研修体育部が 中学校のダンス、体操用に制 作の一つ『夢おどる』は、 おかざきの心の歌、夢三部 小



▲ 中学校「岡崎の舞」(六ツ美北中)

校の児童によって披露された。 は六ツ美北中学校の生徒によ の歌声に合わせ、「岡崎の舞」 って、リズム体操は上地小学 コーラス「ジョリフィーユ\_ に演じられた。岡崎ジュニア れた葵三大イベントの一つ 「岡崎のハーモニー」で、とも 十一月十九日(土)に行わ 月一日、新年交礼会でも 市民

## ▼携帯電話・インターネット 利用の指導

ビス設定の重要性が高まって ル教育とフィルタリングサー 利用に関わるトラブルについ ての報道がなされ、 携帯電話やインターネット 情報モラ

を推進している。 者への指導と保護者への啓発 パーセント普及をめざし、事業 ルタリングサービスの一〇〇 九人である。警察では、フィ 平成二十三年上半期だけで、十 から発表された調査結果では 八歳未満の被害者は、六百七十 平成二十三年九月に警視庁

知らせていきたい。 実させ、保護者にも情報モラ ングサービスの設定について ル るように、各学校の指導を充 の利用が安全に行えるように ○児童が使用する携帯電話に (教育の重要性とフィルタリ 携帯電話やインターネット 子供たちを犯罪から守れ

フィルタリングの利用 小学生約七十六パーセント、

に披露された。

両校によって演じられ、

ト、中学校平均八十七パーセ

係る利用環境実態調査結果 (警察庁広報資料

> 中学生約六十七パーセント ・フィルタリングサービスの

おむね知っていた。明確に知 っている保護者は五割にとど タリングサービスについてお ○岡崎市内小中学校のフィル 十三パーセントであった。 小学校平均九十七パーセン タリングサービスの設定率 保護者の八割以上がフィル (平成二十三年三月末調査) 全く知らない保護者は

まっている。 が充実し、保護者の意識が高 なり高く、各小中学校の指導 全国に比べると設定率はか

○フィルタリングサービスの

・調査の方式

帯電話の販売ショップでの申 申込書を利用した申込、各携 込によって行うことができる。 利用携帯電話からの申込、 設定方法

・フィルタリングサービスの フィルタリングサービスに 利用は無料 は、ホワイトリスト方式と

○その他

方が安全で推奨されている。 ブラックリスト方式がある ホワイトリスト方式の

・スマートフォンについても

フィルタリングサービスを

## >平成二十四年度全国学力・ 学習状況調査

行うことができる。

·調査事項 ・調査の対象 小学校六年生、

われる。 学校に対する質問紙調査も行 問題を出題し調査する。調査 科で、主として「知識」に関 対象児童生徒への質問紙調査、 する問題と「活用」に関する 小学校は、国語・ 中学校は、国語・数学・理 算数・理

を行う。 出した学校を対象として調査 文科省が調査対象として抽

できる。 校は、希望すれば調査を利用 抽出調査の対象校以外の学

※次年度より「理科」が加わる ·調査実施日 ことが大きな変更点である。 平成二十四年四月十七日

## No. 464 ▶岡崎市中学生英語副読本

Our City OKAZAKI

いくことが期待されている。 り確かなものとして充実して 用され、 中学校でこの英語副読本が活 り英語活動が進められている。 独自の英語DVDの視聴によ と作成されたものである。 岡崎の英語教育を推進しよう 介できるようにすることで ことを英語で学び、英語で紹 中二、中三に配布した。 岡崎の子供たちが、岡崎の 究委員会により作成され、 小学校での学びを基盤に、 小学校では、すでに岡崎市 英語が話せるおかざきっ子 岡崎の英語教育がよ 中学校B部門



合唱部門

福岡中学校

#### 表 彰

## ◆第55回日本学生科学賞 入選二等

入選三等 城北中三年 竹内咲貴

\*全国歯・口の健康に関する 図画ポスターコンクール 北 中一年

細川小二年 栗田海青

◆平成23年度全国キャリア教 育優良校 文部科学大臣賞 城南小学校

♥第17回日本管楽合奏コンテ スト

◆CBCこども音楽コンクー ル中部日本決勝大会 竜海中学校

優秀賞

南中学校

優秀賞 最優秀賞 ※全国審査へ 城北中学校 南中学校

優勝

中学校合奏第一の部

中学校合唱 優秀賞 優秀賞 (女声四部合唱) 六ツ美北中学校 三島小学校 南中学校 カヤック女子二人乗り

矢作北中学校

優勝

新香山中二年

優秀賞 三島小六年 廣田美咲

▼第30回愛知県中学生バレー 岩瀬礼子 鷹見 瞳

女子 優勝 二位 六ツ美中学校 六ツ美北中学校

※三校は東海大会出場 ◆第60回愛知県中学校駅伝大会

区間賞 男子 三位 美川中学校

四区 二区 竜海中三年 ▶第18回愛知県中学校カヌー 美川中一年 柴田有彩 渡邊稜介

優秀賞

男子総合優勝 男女総合優勝 カナディアン一人乗り 女子総合優勝 大会新人戦 新香山中学校 新香山中学校 新香山中学校

中日新聞社賞

カヤック女子一人乗り カナディアン二人乗り 優勝 新香山中二年 新香山中二年 新香山中二年 幹弘 髙坂晴香 鈴木克尉 綿 幹弘

小学校ポスターの部

消防試験研究センター愛知

重唱部門 最優秀賞 ※全国審査へ 六ツ美北中学校

男子 ボール新人大会 優勝 六ツ美中学校

\*県中学生の税についての作文 動作文コンテスト 岡崎小六年 水野詩子

花壇表彰 ▼平成23年度秋フラワーブラ ボーコンクール

平成23年度愛知県少年消防 生徒作品展 ・平成23年度県技術・家庭科 クラブ防火作品展 松坂屋賞 城北中三年 六ツ美中部小学校 細川小学校 竹内咲貴

県支部長賞(準特選) 根石小五年 小澤円香 根石小六年 足立遙郁

優秀賞(家康賞)

羽根小一年

河内千歳

カヤック女子四人乗り ▼第61回全国小中学校作文コ ンクール愛知県審査 髙坂晴香 吉竹紗矢栞 新香山中二年 小塚真優

最優秀賞 三島小三年 簗瀬 元

▼第61回社会を明るくする運 県推進委員会委員長賞 (最高賞) 佳作 藤川小五年 足立 渚

矢作北中一年 岩月万依

最優秀賞

卓

優秀賞 岡崎小四年 南 中三年 兼子 佐宗依吹

細川小一年 井田小五年 in 岡崎 中一年 中二年 徳川家康公 八巻美穂 渡邉璃子 川上葵 髙木良倖

◆第25回愛知県中学生英語 論大会 優秀賞・愛知県教育委員会 弁

河合舞果

小塚真優

賞 葵中二年 伊 藤 楓

▶県春日丘中学生英語スピー 努力賞 矢作北中三年 伊藤 杏

¥平成23年度 第38回岡崎市 生の税についての作文 びに国税庁が主催する中学 全国納税貯蓄組合連合会並 チコンテスト 県納税貯蓄組合連合会長賞 小中学生作文コンクール 中日新聞社賞(一位) 六ツ美中三年 近藤俊太朗 竜海中三年 藤原ゆか

|第8回徳川記念財団コンク 最優秀賞 (徳川賞) 作文コンクール 愛宕小四年 増山遼大

カ

w

卜

南 中

Щ 田

周

る気がする ちを包む空気は、

#### 青木川河川美化活動 (昭和51年)

写真提供:常磐中学校

現在ではPTA、木川河川美化活動」 の写真は、 美化や奉仕の心を育てる取組をしている。

が、今では草刈り機を使って、作業の効率化当時は生徒も鎌をもって草刈りに励んでいた を図っている。 磐小の児童も参加して一大行事となっている。

分たちの住んでいる学区を見つめ、 路の清掃活動に積極的に取り組んでいる。 、々と交流を深めることで地域との絆をより 市内の各学校においても、 のにしてい 学区の いる。自 多くの

> る。さて、子供たちは新年にどんな抱負をも さを感じながら、新年の誓いを墨でしたため

たのであろうか。始業式に対面する子供た

いつもより明るく澄んで

まぬ努力の積み重ねで培われた部活動の伝統

先輩から後輩へと今年も受け継がれていく。

ている。目に映るものすべてに新鮮

新春を彩る鉢花が玄関先に飾ら





えのない財産である。 学区を流れる青木川は地域にとってかけ 美化活動を通して環境

昭和四十八年度から始まった

ح

おやじボランティア、 の記録写真である。

> そして、よいことが重なる今年 雪は豊年のしるしとされていた。 春の今日降る雪のいや重け吉事」 け、 [五一六首の最後を飾る一首である。当時は 大伴家持の詠んだ歌 平成二十四年がスタートする。 新しき年の は、 新たな年が 『万葉集 始めの初

タルは、 だそうだ。 間と短い。 おれに聞くな、 明るい光を点滅させて優雅に舞うゲンジ 成虫として光を発する期間は約 ルの変化を見逃さない根気強さを感 知識にとらわれず、 環境の変化に敏感なホタル。 虫に聞け」古田さんの 目の前の 朩  $\Box$ 週 ボ

して地域の環境を見守る子供たち。仲間ととも 川で鍛錬を怠らないカヌー部。ホタル飼育を通 に常に最高の音の響きをめざす音楽活動。 競技。寒さが厳しい冬場でも学区の 数ミリの差で勝敗が分かれる射的 たゆ

\*吃音センセイ 桜舞う校庭で 佐藤 文昭 講談社 ¥1.365

\*かけ算には順序があるのか 誠 高橋 岩波書店 ¥1,260

\*ホットでほっとな学校づくり奮闘の記

前田 勝洋

学事出版 ¥2,415

\*評伝 大村はま 苅谷 夏子

小学館 ¥3,360 \*カンタ 石田 衣良

文藝春秋 ¥1,650

おたがい母子家庭で育ってきた耀司とカン タが初めて出会ったのは、5歳の時。耀司が カンタの住む団地の隣りに引越してきたの だ。発達障がいのため人の気持ちを読めない カンタをめぐって様々な問題が起こるが、カ ンタのことをずっと守り続ける耀司。成人し た2人は、ゲーム会社を起こし急成長を遂げ るが、耀司はマネーゲームに翻弄され命を狙 われる。カンタは、命をかけて耀司を守ると 誓う。真の友情を問う小説。

> 常磐南小 丸尾 光司